



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2019.9月号

夏期特別展

## 平塚学 入門

9月29日(日)まで



私たちが暮らしている平塚市域のさまざまな知識や特徴的なこと・ものを、自然と人文の各領域の視点から紹介してきた夏期特別展「平塚学入門」。期間中に行われた「平塚学夜話」や「平塚学フォーラム」にはたくさんの方々にご参加いただき、たいへんありがとうございました。

残りの会期は約1ヶ月あります。平塚についてもっと知りたい、平塚の魅力を再発見したいという方はぜひ一度ご来館ください。いつもの見慣れた景色が、少し違うものに見えてくるかもしれません。夏期特別展「平塚学入門」は9月29日(日)まで開催中です。



平塚学フォーラムの様子

### 夏期特別展関連イベント

#### 特別展展示解説

日時：9月22日(日)

午前10時～10時50分

場所：特別展示室

参加：自由・無料

夏期特別展最後のイベントとなります！  
皆様ぜひご参加ください！

# 秋休みは、アナログカメラの仕組みを学ぼう！ ピンホール写真体験教室

カメラの原点であるピンホールカメラをつくり、カメラの仕組みを学びます。  
つくったピンホールカメラで撮影し、印画紙に現像する体験をします。

【日 時】10月13日(日)

①午前の部9:30~12:30

②午後の部13:30~16:30

【会 場】講堂と科学教室

【対 象】小学3年生~中学3年生

【定 員】各回20名

【参加費】500円(当日支払い)

講師：社団法人日本写真協会

【応募方法】

往復はがき、または電子メール(muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp)に行事名・希望する回(午前の部か午後の部)・氏名・学年・住所・電話番号を記入して申込み。応募者多数時は抽選。

【締切日】9月28日(土)当日消印有効(メールの場合は同日中)



## 体験学習「魚が浮いたり沈んだり 浮沈子をつくろう」

容器を押したり離したりすると中の魚が浮き沈みする「浮沈子」というおもちゃを、身近なものをつかって作りながら、空気と力について大学生のお兄さんお姉さんと一緒に学びましょう。

(※博物館実習の一環として実施します。)

日 時：9月8日(日) 午後1時30分~3時

(時間内であればいつでも参加できます。工作にかかる時間は10~15分程度です。)

会 場：1階 科学教室

対 象：どなたでも

参加費：無料



## 情報コーナー 博物館実習生企画展示

当館では博物館学芸員資格取得をめざす実習生を毎年受け入れています。今年度は13大学から17名を受け入れ、9月4日(水)~12日(木)まで博物館実習を実施します。実習の最後には実習生が展示を企画・制作し、9月13日(金)~29日(日)まで2階の情報コーナーに展示します。

どのような展示になるかは全くわかりません！学芸員の卵たちのアイデアに、乞うご期待！



9月13日(金)から  
9月29日(日)まで

←昨年度の実習生の展示  
「供え物には意味がある」  
今年はどうな展示になるでしょうか？



# “空”の写真を公募しています！

空は一日たりともおなじ表情を見せることはありません。あるときは抜けるような青空に白い雲が浮かび、またあるときはどんよりとした灰色の曇り空から雨が降ることもあります。雨上がりに虹が見えることもあれば、日が沈む前に色鮮やかな雲・彩雲が見えることもあります。日々、違う顔を見られるのが、空を観察する醍醐味です。

虹や、太陽の周りにできる日暈（ハロ）や光環、彩雲などをまとめて「大気光学現象」といいますが、平塚市博物館では、それらの仕組みなどを美しい写真とともに解説する特別展、「空を見上げよう～光と色の不思議」展を2020年3月に開催する予定です。つきましては、様々な空の表情を幅広く取り上げるため、雲や大気光学現象を撮影した写真を下記の通り募集します。たくさんのご応募、お待ちしております。

## 公募する写真



<雲>

季節を感じさせる雲/〇〇の形に見える雲/不思議な形に見える雲

<大気光学現象>

虹（月虹）/ハロ/幻日/幻日環/環天頂アーチ/環水平アーチ/  
タンジェントアーチ/光環/彩雲/夕陽/夕焼け/地球影/  
光芒（天使のはしご） など

※これってなんだろう？こんな写真送っていいの？などよくわからないものがあれば、

博物館（担当：塚田）までお問い合わせください。

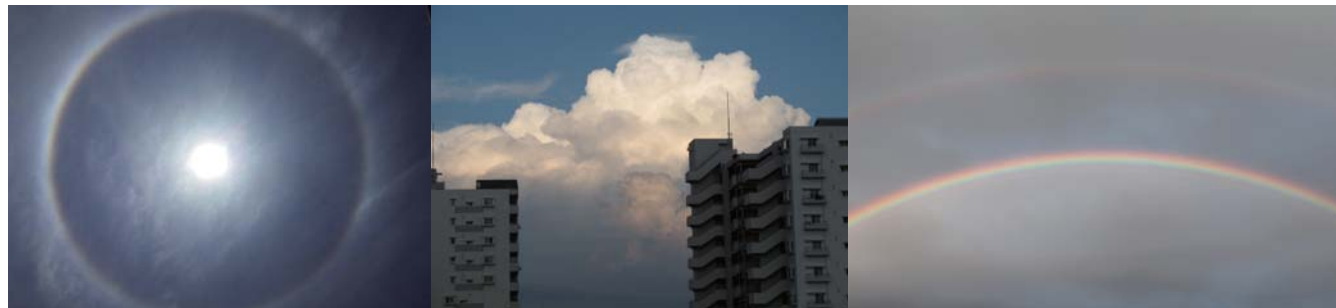
※平塚市内で撮影されたものでなくても構いません。

また撮影日がわかれば、いつ撮影されたものでも構いません。

メール本文に氏名、メールアドレス、撮影場所（市町村）、撮影日を記入し、写真を添付のうえ専用アドレスまでお送りください（応募はメールのみとします）。複数ご応募される場合は、お手数ですが写真1枚につき1通ずつメールをお送りください。写真のサイズは1枚あたり2MBまで。

送付先アドレス：[muse-photo@city.hiratsuka.kanagawa.jp](mailto:muse-photo@city.hiratsuka.kanagawa.jp)

募集締め切り：2019年11月1日（金）



募集する写真の例（左からハロ、夏の風物詩・積乱雲、虹）

## きのこの観察会

秋といえばきのこ。道端や樹木、茂みの中にひょこっと顔を出すきのこはどれも個性的な形をしていて、とても気になる存在です。そんなきのこを吉沢のハイキングコースを歩きながら観察します。様々な色や形があるきのこの魅力、一緒に味わってみませんか？

（注意：このイベントではきのこは食べません）

この観察会は神奈川きのこの会のみなさんのご協力を得て開催します。みなさまのご参加をお待ちしています。



ヒメツチガキモドキ（2016年10月20日吉沢）

日時：10月17日（木）午前9時50分～午後4時

申込方法：往復はがき、または [muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp](mailto:muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp) に、行事名・住所、氏名、電話番号を記入し、10月1日（火）（消印有効）までに申込。

定員：15名（応募多数時抽選）雨天時は中止。

1	日			☆	平塚学入門(9月29日まで)
2	月	休館			平塚の遺跡—近年の発掘調査成果—(9月29日まで)
3	火				プラネタリウム休演(11月1日まで)
4	水				
5	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室		
		裏打ちの会	科学教室		
6	金	古文書講読会	講堂		
7	土	平塚学講座	講堂		
8	日	◎体験学習「浮沈子をつくろう」	科学教室		
		天体観察会 天文学分科会	特別研究室		
9	月	休館			
10	火				
11	水				
12	木	石仏を調べる会	講堂		
13	金	古文書講読会	講堂		
		お囃子研究会	講堂		
14	土	◎天文学入門講座	講堂		
		平塚学講座	講堂		
15	日				
16	月				
17	火	休館			
18	水				
19	木	古代生活実験室	野外		
		展示解説ボランティアの会	特別研究室		
		神奈川きのこの会	科学教室		
20	金	古文書講読会	講堂		
		お囃子研究会	講堂		
21	土	天体観察会 流星分科会	特別研究室		
		平塚学講座	講堂		
22	日	平塚の古代を学ぶ会	科学教室		
		◎夏期特別展解説	特別展示室		
23	月				
24	火	休館			
25	水				
26	木	石仏を調べる会	講堂		
27	金	古文書講読会	講堂		
		聞き書きの会	特別研究室		
28	土	東国史跡踏査団	講堂(雨天)		
		地域史研究ゼミ	特別研究室		
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
		平塚学講座	科学教室		
29	日	天体観察会 定例会	講堂		
		天体観察会 太陽分科会初心者コース	講堂		
		地球科学野外ゼミ	野外		
30	月	休館			

1	火				プラネタリウム休演(11月1日まで)
2	水				
3	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室		
4	金	古文書講読会	講堂		
5	土	平塚学講座	講堂		
		平塚の古代を学ぶ会	科学教室		
6	日	天体観察会 天文学分科会	特別研究室		
7	月	休館			
8	火				
9	水				
10	木	古代生活実験室	科学教室		
		石仏を調べる会	講堂		
		古文書講読会	講堂		
11	金	お囃子研究会	講堂		
		◎星を見る会	科学教室/屋上		
12	土	東国史跡踏査団	講堂(雨天)		
		平塚学講座	特別研究室		
13	日	天体観察会 流星分科会	特別研究室		
		○ピンホール写真体験教室	科学教室		
14	月				
15	火	休館			
16	水	裏打ちの会	科学教室		
		民俗探訪会	相模原市		
17	木	展示解説ボランティアの会	特別研究室		
		○きのこの観察会	野外		
18	金	古文書講読会	講堂		
		相模川流域ジオツアー	講堂(雨天)		
19	土	お囃子研究会	講堂		
		○自然教室	野外		
20	日	平塚学講座	野外		
21	月	休館			
22	火				
23	水				
24	木	石仏を調べる会	講堂		
25	金	古文書講読会	講堂		
		聞き書きの会	特別研究室		
		◎考古学入門講座	講堂		
26	土	地域史研究ゼミ	特別研究室		
		平塚の空襲と戦災を記録する会	特別研究室		
		地球科学野外ゼミ	科学教室		
27	日	○石仏を調べる会	野外		
		生き物ズームプロジェクト	科学教室		
28	月	休館			
29	火	天体観察会 太陽分科会初心者コース	講堂		
30	水				
31	木	月末休館日			

9月の休館日: 2日、9日、17日、24日、30日

☆: プラネタリウム投影日 ◎: 申込制行事 ○: 参加自由 無印: 年間会員制  
 プ: プラネタリウム一般投影 特: 特別展 寄: 寄贈品コーナー展示 情: 情報コーナー展示

【9月の行事】

◎天文学入門講座 第6回「月の文化」

内容: アポロ11号が人類初の月面着陸を果たして半世紀を迎える節目の年に、月を様々な角度から見つめなおします。最終回(第6回)は、月を文化的な視点で見つめます。

日時: 9月14日(土) 午後3時30分~午後5時 ※開場は午後3時15分

【9月の展示】

■特別展(会場: 平塚市博物館1階特別展示室)

「平塚学入門」9月29日(日)まで 1頁参照

■寄贈品コーナー展示(会場: 平塚市博物館1階寄贈品コーナー)

「平塚の遺跡—近年の発掘調査成果—」9月29日(日)まで

■情報コーナー展示(会場: 平塚市博物館2階情報コーナー)

「博物館実習生の制作展示」9月13日(金)~29日(日) 2頁参照

【9月のプラネタリウム】

○定員: 70名 観覧料: 200円(18歳未満・65歳以上無料)

○観覧者全員が揃ってから観覧券をお求めのうえ、投影開始10分前までに3階にお越しください。

○全席自由席です。○投影開始後のご入場・途中退場はできません。

○65歳以上の方は年齢を確認できるものをご用意ください。

☆プラネタリウム一般向け番組「アポロ50年~宇宙開発の現場で語られた名(迷)言たち~」(所要50分)

投影日時: 9月1日(日) 午前11時、午後2時

プラネタリウム休演

9月2日(月)~11月1日(金)

